

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和7年度

1 基本情報

公の施設名	さがみ湖リフレッシュセンター
指定管理者名	株式会社 サンワックス
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
施設設置条例	相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター条例
施設の設置目的	高齢者の健康の保持及び増進並びに介護知識及び介護方法の普及を図り、高齢者に趣味活動の場を提供し、並びに高齢者の機能訓練を行う拠点施設
施設概要	所在地 緑区若柳1207番地4 施設設置平成13年4月1日 敷地面積 2,055.14㎡ 建物延床面積 1,102.9㎡ 建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造(地上2階) 1階 会議室 2階 ふれあいルーム1, 2 研修室 調理実習室 憩いの間 図書コーナー 交流コーナー 事務室
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 津久井高齢・障害者相談課

2 管理実績

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数合計（人）	20,620	16,859	26,983	30,827	—	—	—
利用料金合計（円）	575,529	621,161	768,074	812,905	—	—	—

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	成果指標1については、達成度118.8%で1日当たりの施設利用者数の目標値を達成している。大幅に利用者数が増加した前年度と比較しても1日当たりの利用者数が、9.4人増加しており各事業の実施やイベント開催の効果が反映されているものと評価できる。 成果指標2については、達成度110.1%で事業への参加者の満足度の目標値を達成している。前年度から継続して事業参加者の満足度は高水準で推移しており、参加者のニーズに沿った事業を実施できたものと評価できる。

指標1

指標名（単位）	1日当たりの施設利用者数
指標式と指標の説明	リフレッシュセンターを拠点とした活動の推進状況を、客観的に評価するため、1日当たりの施設利用者数を指標とする。

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（人）	—	—	75	77	79	81	83
実績値（人）	—	—	82.1	91.5	—	—	—
達成度（%）	—	—	109.5%	118.8%	—	—	—

※成果指標1は、令和6年度より利用部屋数から利用者数へ変更

指標2							
指標名（単位）	事業への参加者の満足度						
指標式と指標の説明	指定管理者が実施した各事業の内容を評価するため、参加者の満足度を指標とする。						
項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（％）	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値（％）	98.8%	100.0%	98.7%	99.1%	—	—	—
達成度（％）	109.8%	111.1%	109.7%	110.1%	—	—	—

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	「阿津川ほたるの集い」や「いきいきフェスティバル」など地域団体と連携して大型イベントを開催し地域の活性化や高齢者以外の利用者確保に努めている。また、多世代で参加できる事業を複数実施しており、利用者数が年々増加している結果は評価できる。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
映像と音楽で楽しむ 機能訓練レクリエーション	4月～3月	映像を見ながら音楽や歌を使って、認知・口腔・運動などの機能訓練を実施し、気軽に高齢者が健康増進に取り組む機会を提供した。 【回数】92回 【実施日】平日の月曜日・金曜日（祝日を除く）【参加者】188人	○
童謡を歌おう	7月、11月	童謡をソプラノとピアノの生演奏と共に歌って楽しむコンサート形式の講座を開催し、音楽を楽しみながら口腔機能の維持・向上を図った。 【回数】2回 【実施日】7/13、11/17 【参加者】25人	○
健康ウェルネス吹き矢教室	4月～3月	スポーツウェルネス吹矢協会指導員による体験教室を実施し、健康増進の機会を提供した。 【回数】12回 【実施日】毎月最終月曜日【参加者】80人	○
体操教室	4月～3月	自宅でもできる運動の紹介、運動習慣づくり、健康な身体づくりを行う講座を実施し、高齢者の介護予防や健康増進を図った。 【回数】12回 【実施日】毎月第2水曜日【参加者】131人	◎
シニアのためのスマホ相談室	4月～3月	スマートフォン使用方法の相談会を開催し、高齢者に使い方の悩みを解消する場を提供した。 【回数】12回【実施日】毎月第4木曜日 【参加者】37人	◎
カラオケ機器の貸出	4月～3月	会議室の未予約枠を活用してカラオケ機器を貸し出し、歌唱による健康増進の機会を提供した。 【貸出数】58回【参加者】239人	◎

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
阿津川ほたるの集い (阿津川蛍の会・阿津自治会共催)	6月	自治会と共催によるほたる鑑賞会、ワークショップ、演奏、キッチンカー出店等の催しを実施し、市内外から多くの来場者があり地域活性化に貢献した。 【回数】1回【実施日】6/14【来場者】1,137人 【ワークショップ等参加者】97人	◎
リフレッシュコンサート	4月、2月	クラシックの名曲等をフルート、ヴァイオリンと電子ピアノで演奏するコンサートを開催し、気軽に文化芸術に触れる機会を提供した。 【回数】2回【実施日】4/29、2/23 【参加者】44人	○
クラフトワークショップ	6月～2月	相模原市在住講師によるフラワーアレンジメント、石鹸作り、絵画等の作品づくりの講座を実施した。作品づくりを楽しみ参加者同士の交流を図ることが出来た。 【回数】12回【実施日】4/6、5/14、7/14、7/31、8/2、9/10、10/30、11/15、12/13、1/24、2/21、3/29 【参加】53人	◎
旧作映画無料鑑賞会	5月、1月	旧作映画DVDの上映会を行い、近隣の施設で気軽に名画を楽しめたと好評をいただいた。 【回数】2回【実施日】5/3、1/18 【参加人数】18人	○
クラフト広場	4月～3月	季節の工作、手芸、木工、アクセサリ作り等の講座を実施した。指先を使う作業で脳を活性化しながら利用者同士が会話や交流を楽しんだり、多世代の参加者が交流する場となった。 【回数】10回【実施日】4/6、5/11、7/21、8/3、9/20、10/19、11/23、12/21、1/12、2/15 【参加者】47人	○
ヨガ教室 (イキイキヨガ、やさしい夜ヨガ)	4月～3月	初心者から参加できるヨガの教室を実施した。気軽に運動を楽しめると好評をいただいた。 【回数】50回【実施日】毎月第1・3水曜日、第2・4月曜日【参加者】724人	◎
理科マルシェ	8月	夏休みに理科の講義や工作に参加できるイベントを開催し、多くのご家族の参加者を得た。施設の認知度向上にも貢献した。 【回数】1回【実施日】8/9【参加者】360人	◎
卓球開放事業	4月～3月	卓球を気軽に楽しむ場を提供し、施設の利用促進、参加者の健康増進につながった。 【回数】23回【実施日】毎月第4木曜日、第1日曜日【参加者】333人	◎
いきいきフェスティバル (阿津さくら自然を守る会「阿津さくらまつり」同時開催)	3月	利用団体の成果発表、読み聞かせ、ワークショップ、健康チェック、キッチンカー出店などのイベントを開催し多くの来場者を得た。阿津自治会の「阿津さくらまつり」と同時開催したことで地域振興にも貢献できた。 【回数】1回【実施日】3/21 【来場者】1,320人	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	利用者へのアンケート調査による満足度は、92.9%と高い評価を受けている。アンケート結果では、職員の接遇態度や施設の衛生面などについて高い評価を得ており、引き続き、利用者の高い満足度を継続できるよう期待する。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査 期間：令和7年12月1日～令和8年1月4日 サンプル数：372名
目標値の基準	総合的な満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（%）	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値（%）	99.3%	99.1%	95.0%	92.9%	—	—	—
達成度（%）	110.3%	110.1%	105.6%	103.2%	—	—	—

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱の設置	通年	施設にご意見箱を設置し、利用者からの意見や要望を随時受け付けている。いただいたご意見等には迅速な対応に努めている。
事業アンケート	事業毎	企画提案事業・自主事業実施時には、アンケートを実施し、利用者の意見の把握や反映に努めている。
ホームページからの問い合わせ	通年	施設のホームページにお問い合わせフォームを設置し、随時問い合わせを受信出来るよう努めている。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	本体事業収支は赤字であったが、全体収支は黒字であり経営状況に特段の問題はないことから「A」評価とする。 また、企業の財務状況については、決算報告書等を確認し、「経営状況について特段の問題はない」との結果であった。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(円)
項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
収入（a）		16,808,053	20,917,527	20,713,378	
	指定管理料	14,870,923	19,994,780	19,676,020	
	利用料金収入	621,161	768,074	812,905	
	その他の収入	1,315,969	154,673	224,453	
支出（b）		16,581,742	20,067,374	20,729,213	
	人件費	9,441,578	9,474,327	11,446,744	
	本社管理経費	360,000	1,297,973	1,279,372	
	その他の支出	6,780,164	9,295,074	8,003,097	
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		226,311	850,153	-15,835	
自主事業収入（d）		102,890	742,170	731,774	
自主事業支出（e）		66,660	663,143	648,326	
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		36,230	79,027	83,448	
全体収支【(c)+(f)】		262,541	929,180	67,613	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和7年10月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	各設備点検や保守管理について適切に管理されていた。
危機管理	適正に実施	危機管理マニュアルや消防訓練等により適切に実施されていた。
人員配置・地元活用	適正に実施	利用状況により、人員配置を変更するなど適切に実施されていた。
現金管理	適正に実施	現金受払簿や金庫を確認したところ適切に管理されていた。
会計・経理	適正に実施	現金受払簿や通帳を確認したところ適切に実施されていた。
情報セキュリティ	適正に実施	マニュアルの整備や研修の実施等、適切に実施されていた。
情報公開・個人情報保護	適正に実施	情報公開規程の整備等、適切に実施されていた。
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	協定による規定等に基づき、適切に実施されていた。
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

指定管理者として2年目を迎えた本年度も、安全・安心な施設管理を徹底するとともに、利用者の意見の反映（フリーWi-Fiの提供、抽選方法の改善）、広報の強化（SNS運用、情報紙の毎月発行、他施設へのチラシ配架）、利便性の向上（館内備品の更新）、修繕や予防保全点検の自社対応、地域連携（阿津自治会、シルバー人材センター、パルシステム神奈川）など、利用者満足度の高いサービスの提供を継続した。年間利用者数は前年度比3,844人増、利用料金収入は同比44,831円増とともに増加し、施設の活性化と運営面において成果を上げることができた。既存の利用団体だけでなく、新規の団体利用や個人利用も着実に増加している。企画提案事業・自主事業は本年度も多数実施し、阿津自治会と共催した「ほたるの集い」「いきいきフェスティバル」、夏季の子供向けイベント「理科マルシェ」などの大型イベントは、当施設のみならず地域の活性化にも貢献した。次年度も安全・安心な環境の提供を基本とし、地域とのつながりを大切にしながら、施設の利用促進や地域の活性化に取り組んでいく。

10 所管課意見

・令和6年度に引き続き「阿津川ほたるの集い」や、「いきいきフェスティバル」といった大型イベントを地域団体との連携により開催し、地域の交流促進や幅広い年代の利用による施設の活性化を図った取組は評価できる。

・各事業やイベントの周知については、「広報さがみはら」及び「津久井地域（旧4町）の各地域情報誌」への掲載や、近隣の施設等にチラシを配架するなど多様な広報活動が利用者の増加へ結びついている。今後も様々な手段を用いた広報活動を継続し、施設の利用促進を図ることを期待する。

・利用者から要望の多かった光回線を使用したフリーWi-Fiの導入や暗幕カーテンの設置など利用者の利便性向上に努めており、次年度以降も積極的に取組むことを期待する。

11 選考委員会意見

・令和6年度に利用者数が大幅に増加した状況の中、令和7年度も利用者数の増加が継続しており、様々な事業の実施やイベント開催による集客の取組は評価できる。

・幅広い年代による利用拡大の試みとして、夏休み期間中の小学生を対象とした「理科マルシェ」や、親子で参加できる「ワークショップ」を多数開催しており、次年度以降も継続して実施することを期待する。

・阿津自治会や地域団体との連携による大型イベントを開催し、地域の活性化や施設の認知度向上を図る取組は評価できる。

・地域情報誌やインターネットの活用など多様な手段による情報発信を継続することにより、新たな利用者を獲得し、施設の活性化に繋がることを期待する。

総合評価（自動判定）

S

(85/100)

